

現状

豊川市 市民部 市民協働国際課

- ◆連区・町内会、地区市民館や市民憲章、ボランティア・市民活動団体に関する業務
- ◆とよかわ市民協働推進計画の推進
 - ・市民活動に関する情報収集・提供
 - ・人材育成と協働意識の醸成
 - ・市民活動団体の支援
 - ・市民協働推進の仕組みづくり

ボランティア・市民活動センタープリオ
ボランティア・市民活動センターウイズ

- ◆市民活動等の支援・市民活動情報の受発信

令和5年度
とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果

市民活動に関する情報収集・提供	
紙媒体による情報提供の充実	4
インターネットなどの効果的な活用	4
人材育成と協働意識の醸成	
担い手の育成と活用	4
協働意識の醸成	4
市民活動団体の支援	
活動拠点の充実	4
財政的支援などの充実	4
人的支援の充実	4
市民協働推進の仕組みづくり	
推進・連携体制の整備	4
協働事業の評価・公表	4



市民協働に関する市民意識調査の結果

市民(1,009人)

<状況>

- 市民活動の理解は進むが、社会的意義の認知は衰退
- 市民活動経験者は増加
- 「住みやすいまちづくり」「地域の安全活動」等の分野が多い
- 不参加の理由は、忙しくて時間がない、「きっかけ」や機会がない
- 協働は参加したことはないが聞いたことがあるは3割強
- 市民協働のまちづくりを実感している市民は1割強
- プリオやウイズを知らない市民は6割弱

<課題>

- ◎関心は横ばい
- ◎市民協働のまちづくりが実感できないは6割弱
 - ➔市民活動をきちんと理解できてない？
 - ➔協働を分かりやすく説明できてない？

ポイント

市民活動への理解推進

協働への理解推進

参加しやすい活動環境

ボランティア・市民活動団体(249団体)

<状況>

- 設立の新しい団体や年齢層が高齢化しているの団体が増加
- 「健康・福祉の向上」「子どもの成長支援」等に取り組む団体が増加
- 活動は、人材不足・参加者の高齢化のなかで行われる
- 協働先は同じような活動をする団体、町内会が中心

<課題>

- ◎人材育成と確保(会員・若い参加者確保)
- ◎協働の認知は進むが理解度は衰退
- ◎協働は重要、協働したいかわからない
- ◎団体からの情報発信は活動内容が中心
 - ➔会員獲得に効果がない？
 - ➔市民や企業の活動理解に繋がる？

ポイント

情報発信の充実

人材の獲得と育成

協働に取り組む支援促進

企業(66企業)

<状況>

- 社会貢献に取り組む企業は7割弱
- 理由は「地域の発展に会社の発展がある」「企業イメージの向上」等
- 活動は「住みやすいまちづくり」「環境保護」「健康や福祉の向上」等
- 協働を理解している企業は2割弱、協働は人的・資金的な支援

<課題>

- ◎協働への取り組みが具体化していない
 - ➔協働の内容がわからない？
 - ➔社会貢献活動を協働すべきか？

ポイント

協働への理解促進

協働マッチングの手法習得

取り組むべき方向性

市民協働の理解促進

- ・市民協働に関する情報発信と共有
- ・市民協働に関する理解促進

市民協働の人材育成・確保

- ・活動への参加きっかけづくり
- ・活動の担い手育成

市民協働環境の充実

- ・活動拠点の支援
- ・財政的支援
- ・人的支援

市民協働推進体制の強化

- ・推進・連携体制の充実
- ・協働事業の評価と公表

第2期 とよかわ市民協働推進計画のポイント

第1期で整備した支援事業の活用を強化し、市民協働の促進を図ります。

★支援事業の継続と活用促進の強化

引き続き、市民協働推進のための支援事業を実施し、多くの団体の活用を促進します。

★市民協働マッチング機能の充実

まちづくりコーディネーターの活用等、協働のマッチングシステムを活用し、市民協働のまちづくりを進めます。